



平成27年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フレンテ

コード番号 2226 URL <http://frente.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小池 孝

問合せ先責任者 (役職名) 経営支援本部 経理部長

(氏名) 石井 雅美

TEL 03-3979-2116

四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第3四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第3四半期	23,207	2.6	114	△55.5	152	△46.1	108	△23.6
26年6月期第3四半期	22,626	5.2	256	—	283	—	142	—

(注) 包括利益 27年6月期第3四半期 72百万円 (△58.2%) 26年6月期第3四半期 173百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第3四半期	22.27	—
26年6月期第3四半期	32.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第3四半期	20,069	12,211	60.6
26年6月期	17,897	10,088	56.1

(参考) 自己資本 27年6月期第3四半期 12,166百万円 26年6月期 10,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	47.50	47.50
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	47.50	47.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,800	3.0	350	2.8	390	3.4	220	30.2	44.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期3Q	5,335,000 株	26年6月期	4,441,000 株
② 期末自己株式数	27年6月期3Q	527 株	26年6月期	457 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期3Q	4,877,724 株	26年6月期3Q	4,440,556 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が改善傾向にあるものの、個人消費につきましては消費税増税や緩やかな物価上昇により回復ペースが鈍化いたしました。

このような状況の下、当社グループは『独創的でユニーク』なオンリーワンメーカーとして一層のポジション強化を図るため、平成26年11月に業務・資本提携しております日清食品ホールディングス株式会社に対して第三者割当による新株式を発行し、事業活動全般にわたる協働を更に進める施策を実施いたしました。

スナック部門におきましては、発売30周年を迎えた「カラムーチョ」で積極的な営業活動や販売促進活動を展開した結果、同ブランドの売上は前年同期を上回りました。

また、堅めの食感が特徴の「頑固あげポテト」は、発売1周年を機にテレビコマーシャルを投入して拡販に努めました。

コーンスナックの「スコーン」では、ブランドコンセプトを『日本生まれのおいしさ』として明確に打ち出し、プレゼントキャンペーン等の施策を実施した結果、好調に推移いたしました。

海外事業につきましては、台湾でキャンペーン及び街頭イベントを積極的に実施するとともに、米国ではアジア系住民を対象とした展示会に初出展し「カラムーチョ」のサンプリングを行いました。

タブレット部門におきましては、乳酸菌LS1配合「スーパークリッシュ」で新規顧客の拡大を目的とするWEB広告を本格稼働させ、効果的な広告表現をテストするとともに、外部EC（電子商取引）サイトへの出店等を行いました。

以上により、売上面では前年同期を上回りましたが、利益面では景気回復を背景とした製造人員の確保難、販売促進費及び広告宣伝費の増加等の収益圧迫要因により厳しい状況となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は23,207百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益114百万円（同55.5%減）、経常利益152百万円（同46.1%減）、四半期純利益108百万円（同23.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ2,172百万円増加し、20,069百万円となりました。主な要因は、有価証券の増加（1,699百万円）によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ49百万円増加し、7,857百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の増加（161百万円）及び退職給付に係る負債の増加（199百万円）が、買掛金の減少（333百万円）を上回ったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,122百万円増加し、12,211百万円となり、自己資本比率は60.6%となりました。主な要因は、第三者割当増資に伴う資本金（1,179百万円）及び資本剰余金（1,179百万円）の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年1月30日の「平成27年6月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が138,237千円増加し、利益剰余金が89,024千円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,768,318	3,997,055
受取手形及び売掛金	4,540,274	4,514,860
有価証券	—	1,699,925
商品及び製品	556,525	436,842
仕掛品	4,169	9,670
原材料及び貯蔵品	310,908	530,947
その他	675,760	712,927
貸倒引当金	△1,914	△1,031
流動資産合計	10,854,042	11,901,198
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,058,185	2,011,822
機械装置及び運搬具（純額）	2,020,276	2,090,236
土地	1,551,566	1,551,566
その他（純額）	255,405	82,582
有形固定資産合計	5,885,433	5,736,208
無形固定資産		
その他	65,798	62,276
無形固定資産合計	65,798	62,276
投資その他の資産		
その他	1,091,863	2,370,637
貸倒引当金	—	△900
投資その他の資産合計	1,091,863	2,369,737
固定資産合計	7,043,094	8,168,221
資産合計	17,897,137	20,069,420
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,955,585	2,621,805
未払金	2,533,781	2,557,682
未払法人税等	35,214	196,288
役員賞与引当金	13,700	8,775
賞与引当金	106,216	284,575
その他	502,290	319,075
流動負債合計	6,146,788	5,988,202
固定負債		
年金基金脱退損失引当金	21,191	21,191
役員退職慰労引当金	341,373	355,748
退職給付に係る負債	1,187,354	1,386,711
その他	111,550	106,003
固定負債合計	1,661,470	1,869,654
負債合計	7,808,259	7,857,856

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,090,405	2,269,591
資本剰余金	974,790	2,153,976
利益剰余金	7,967,853	7,776,525
自己株式	△1,051	△1,253
株主資本合計	10,031,996	12,198,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,291	12,344
為替換算調整勘定	2,445	7,291
退職給付に係る調整累計額	△55,269	△52,278
その他の包括利益累計額合計	14,467	△32,643
少数株主持分	42,413	45,367
純資産合計	10,088,877	12,211,563
負債純資産合計	17,897,137	20,069,420

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
売上高	22,626,892	23,207,935
売上原価	13,982,749	14,415,575
売上総利益	8,644,143	8,792,360
販売費及び一般管理費	8,387,186	8,678,109
営業利益	256,956	114,250
営業外収益		
受取保険金	1,284	22,562
その他	28,515	26,540
営業外収益合計	29,800	49,103
営業外費用		
支払利息	2,833	2,208
株式交付費	—	8,254
その他	9	0
営業外費用合計	2,843	10,462
経常利益	283,912	152,890
特別利益		
投資有価証券売却益	—	93,891
特別利益合計	—	93,891
特別損失		
減損損失	880	—
特別損失合計	880	—
税金等調整前四半期純利益	283,032	246,782
法人税、住民税及び事業税	105,285	219,024
法人税等調整額	24,979	△87,408
法人税等合計	130,264	131,615
少数株主損益調整前四半期純利益	152,767	115,166
少数株主利益	10,644	6,543
四半期純利益	142,122	108,622

（四半期連結包括利益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	152,767	115,166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,630	△54,946
為替換算調整勘定	5,473	9,500
退職給付に係る調整額	-	2,990
その他の包括利益合計	21,104	△42,455
四半期包括利益	173,871	72,710
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,544	61,511
少数株主に係る四半期包括利益	13,326	11,198

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年11月18日付で、日清食品ホールディングス株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が1,179,186千円、資本準備金が1,179,186千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,269,591千円、資本剰余金が2,153,976千円となっております。